

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年3月9日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	35	6	2	11	24	43
令和6年	40	8	0	10	30	48
前年同期比	-5	-2	2	1	-6	-5

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	9	25.7%	1	0	3	14
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	9	25.7%	1	0	3	10	14
中央アルプス	4	11.4%	0	1	2	2	5
南アルプス	1	2.9%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	5	14.3%	2	0	2	1	5
その他の山岳	16	45.7%	3	1	3	11	18
計	35		6	2	11	24	43

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	6	17.1%	3	0	3	0	6
転倒	9	25.7%	1	0	8	0	9
病気	2	5.7%	0	0	0	2	2
道迷い	9	25.7%	0	0	0	14	14
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	1	2.9%	0	0	0	1	1
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	8	22.9%	2	2	0	7	11
計	35		6	2	11	24	43

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2		0	0	0	0	0	2		
20代	0	0	0	5	5	13	0	0	0	1	1	6	17	
30代	1	1	1	3	6	35.1%	0	0	1	2	3	9	39.5%	
40代	1	0	3	2	6	13	0	0	0	0	0	6	15	
50代	0	1	1	5	7	35.1%	0	0	2	0	2	9	34.9%	
60代	2	0	3	3	8	11	0	0	0	0	0	8	11	
70以上	2	0	0	1	3	29.7%	0	0	0	0	0	3	25.6%	
計	6	2	8	21	37		0	0	3	3	6	43		
比率	86.0%						14.0%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/3～3/9）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月7日	ハケ岳連峰 赤岳	男	66	死亡	滑落	単独で赤岳から下山中、滑落
3月7日	ハケ岳連峰 東天狗岳	男	66	死亡	滑落	単独で夏沢鉱泉から入山し、滑落
3月7日	根子岳	男	69	無事救出	道迷い	単独でバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
3月8日	中央アルプス 千畳敷	女	54	負傷	滑落	3人パーティで千畳敷から登山中、バランスを崩し、滑落負傷
3月8日	北アルプス 大遠見山	男	24	無事救出	その他	単独でバックカントリーを滑走中、積雪により、行動不能
3月9日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	男	54	行方不明	不明	単独で木曾駒ヶ岳に向けて登山中、行方不明

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、6件の山岳遭難が発生し、うち2件が死亡遭難、1件が行方不明遭難です。
 宝剣岳や木曾駒ヶ岳は、ロープウェイを使って簡単にアクセスができる山ですが、乗越浄土付近は急斜面になっており、登りもさることながら、下山時には「こんなに急斜面だったのか」と恐怖で下山できない人がいるほどです。
 今回の遭難者ではありませんが、千畳敷にパトロールに行った救助隊員によれば、

チェンスパイク（軽アイゼン）で登る方

アイゼンを正しく履けない方

雪崩三種の神器（ビーコン・プローブ・ショベル）を携行していない、使えない方

を多く見かけるようです。

雪山に挑戦する皆さんには、

キホンをしっかりと学び、身につけてからの入山

を強くお願いします。

なお、自分自身の実力が分からないという方は、山岳会やガイド登山等で客観的に把握することも大変有効です。